

# たかお 高雄の自然と歴史

提案団体：高尾山の自然と歴史を語り継ごう会

## 伝えたい物語

高雄地区は太宰府市の東南に位置し、北には標高 151 m の高尾山があり、中央部には高尾山を源流とする高尾川が流れる自然豊かなところです。

高尾山は、古くは『筑前国続風土記』をはじめとする史料に見られ、山頂付近には、同史料に伝えられる高尾山城址があります。また、江戸時代末期に太宰府天満宮に参拝した秋月藩士の紀行文『安楽寺参詣日記』に、秋月を出発し、高尾山を越えて、太宰府天満宮に向かう際の様子「さばかり高からぬ山なれど遠近が見渡されて心ゆく所なり」と記されるなど、太宰府天満宮の参詣道として多くの往来があったことがうかがえます。

高雄地区の歴史を物語る文化遺産として、弥生時代の甕棺墓（吉ヶ浦遺跡）や、古墳（菖蒲ヶ浦古墳群、吉ヶ浦古墳群など）や住居跡があり、古代から人々が高雄地区に生活していたことがうかがえます。さらに、高尾山山頂付近の大行事塔では神幸式大祭の前に太宰府天満宮による神事が行われます。その他にも高雄公民館近くには大行事塔・猿田彦大神が、各家には屋敷神である大師・薬師如来・馬頭観音などの石像群が祀られています。これらの文化遺産群は、地域の人々によって現在に至るまで大切に守り受け継がれてきています。

現在の高雄地区は開発が進みつつありますが、四王寺山（岩屋城跡）からは高尾山一帯の緑豊かな自然を一望することができます。高尾山山中ではタヌキや野ウサギなどの小動物やメジロ、ウソ、カワセミ、モズなどの鳥類、高尾川では上流でホタル、中流でハヤ・コイ・フナなど、四季を通じて様々な動物を見ることができます。

私たちは、このような誇るべき「高雄の自然と歴史」を記憶にとどめ、さらに地域住民や子どもたちに伝え、未来の人々へ残すことを願って活動していきます。

## 物語の基礎となる文化遺産

- 高尾山
- 高尾川
- 高尾山城跡
- 一字一石塔
- 大行事塔
- 大師様
- 大師石像ほか
- 『筑前国続風土記』
- 菖蒲ヶ浦古墳群 など



岩屋城跡（四王寺山）からみた高尾山



高尾川



高尾山の大行事塔



高雄公園の石仏群

## 育成活動

### ①文化遺産の存在の周知活動

- ・文化遺産めぐり
- ・文化祭での展示
- ・講演会の実施
- ・小中学校への出前講座
- ・地藏公園・高雄公園の活用

### ②文化遺産の継続調査

- ・今はなくなっている古道、風習、遊び、唄等の調査
- ・文献調査

### ③「豊かな自然」の保護活動

- ・生き物観察会
- ・山や川の清掃活動
- ・写真撮影会と展示



太宰府南小学校建設地と菖蒲ヶ浦古墳の発掘調査



文化遺産調査のようす